

『もりおかの短歌』秋の部

一般部門 優秀賞十首

せんねん

千年の

れきし

みちのく

厂史をこえて陸奥の

えみしまも

いじのあざまろ

蝦夷守りし伊治砦麻呂

神奈川県横浜市

伊治 哲

えきびよう

ちゅうし

疫病に中止となるも

はちまん

まつりばやし

八幡の祭囃子の

き

ゆう

聞こえる夕べ

秋田県大仙市

鈴木 仁

もりおか

しやくしよまえ

盛岡の市役所前の

あか

みな

ナナカマド赤い実生りて

あき

かぜふ

秋の風吹く

盛岡市

鈴木 充

技と究わざ ぐみょうの

こころ寄よせ合あふ裂さき織おりの

ブランド輝ひかるロマンけん県都とに

釜石市 中嶋 多喜子

岩手山いわてさん

山の紅葉やま こうようながめつつ

古希こき いわの祝いわいのフルムたーン旅び

千葉県浦安市 金井 厚子

幼おさなより貧まずしき中なかで

啄木たくぼく うた あんじゆの歌うたを暗あん誦じゆし

喜寿きじゆ こ超こえしわれ

青森県青森市 鈴木 操

もりおかに見みえる山やま並なみ優やさしくて

語りかたくるやう

夕日ゆうひ うを受けて

千葉県山武郡 齋藤 博

コロナ禍にか

しろおとず

もりおかの城訪れて

こころしずか あき ながあめ

心静な秋の長雨

茨城県守谷市 飯塚 忠

あさや みこ だあさいち

朝焼けの神子田朝市

は いき しろ ひと

吐く息の白さに人の

あたたかさあり

富山県富山市 早川 晃央

と おとや

遠里や

よる しじま

夜の静寂によみがえる

おど しろ ばち て

さんさ踊りの白き桴の手

宮城県多賀城市 小松 隆夫

秋の部（ジュニア部門）

優秀賞

該当なし

## 【講評】

### 一般部門

今回の優秀賞には他県の方が多かった。九十三歳の方がいたことも嬉しかった。盛岡は啄木のイメージを持っている方が多いと実感したが、啄木に拘らず新しい盛岡を発見して欲しい。素材を大切にして歌を詠みましょう。

令和二年十二月選 秋の部

投稿数 八十八 首

選者 赤澤 篤司